

女性のグローバルな 活躍のためのワークショップ



主催：お茶の水女子大学

日本の女子学生がグローバルな活躍をするためには、何をすべきでしょうか？

「グローバル化」の時代において、大学・大学院卒業後のキャリア形成においては、グローバルな形で自らの専門性を生かし、創造的能力を発揮したいと願う人も多いでしょう。

ところが、日本の女子学生は、二重の意味でハンディを負っています。第一に、日本では、残念ながらいまだに女性の社会進出が遅れているうえ、グローバル化の時代であるといわれながらも、企業などでの環境整備は進みません。第二に、そうした厳しい状況にあっても、日本では、女性がまわりに参考となるロールモデルを見つけ難いということがあります。そんな社会で、グローバルな文脈での活躍を望む日本の女子学生は、何をすべきでしょうか。何かできるでしょうか。

このワークショップは、学生たちにとってロールモデルとなる方々を、さまざまな分野からお招きし、助言や知恵を受け取ることを目的としています。それは、学生たちが、自分自身の価値観を作り上げ、社会貢献し、グローバル社会での真の意味での「自己発見」を成しとげる道しるべとなることでしょう。

場所：お茶の水女子大学 本館306号室 (事前申し込み不要・先着100名)
時間：18:30～20:00

第一回：5月22日(水)

講師：伊藤 久美(いとう・くみ)

日本アイ・ビー・エム株式会社 理事

グローバル・プロセス・サービス部門 ソリューション・プログラム・エグゼクティブ



始まりは、ちょっとしたアイデアだった・・・

IBMの「わらしべ長者」が語る！

ひとつのアイデア商品をきっかけに、専業主婦からパートタイマー、そして現在は(株)日本IBM理事と、華やかな転身をとげていった伊藤さんは、「わらしべ長者的キャリア」の持ち主とされています。

実業界でのキャリアを目指したい貴女、キャリアと生活を両立させた女性の生き方について知りたい貴女、必聴です★

講師略歴：大学卒業後、大手電機メーカーに勤務。夫の転勤に伴い退職、出産。専業主婦生活の後、契約社員を経て日本IBMに入社。戦略コンサルタント、副社長補佐、アメリカ本社赴任、ソフトウェア部門事業部長等を経て現職。グローバル人材、イノベーション、キャリアに関する講演活動、委員会活動多数。著書に『カリスマの消えた夏』(日経BP社 共著)『ものことづくり』(日経BP出版社 共著)。

次回以降も、魅力的な講師陣が続々待機中！



第二回：6月5日(水)

講師：佐野 真由子(さの・まゆこ)

(国際日本文化研究センター准教授
元・UNESCO本部文化局)



第三回：7月24日(水)

講師：安芸 早穂子(あき・さほこ)

(画家・エッセイスト・
イラストレーター)

問い合わせ先：グローバル人材育成推進センター(wgws@cc.ocha.ac.jp) 電話：(03)5978-2734 (内線：2734)